

令和 3 年

岩国市観光客動態調査 報 告 書

岩国市観光振興課

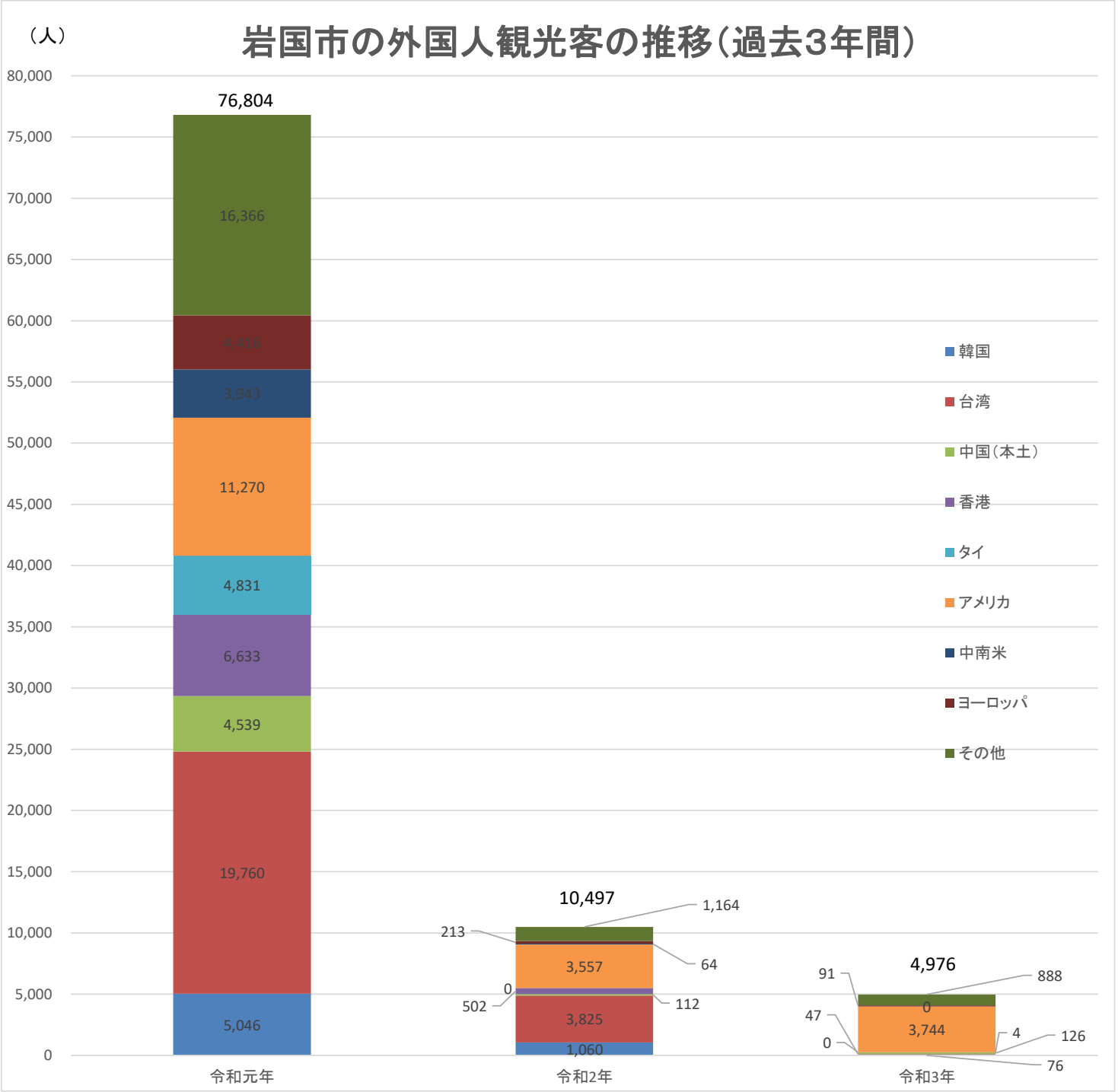
岩国市の観光入込客数と錦帯橋入橋者数の推移（過去10年間）



（人）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
観光入込客数	3,342,953	3,112,598	2,970,357	3,114,875	3,154,996	3,329,275	3,152,633	3,223,578	1,366,079	1,351,377
錦帯橋入橋者数	697,927	700,866	623,969	611,827	614,583	677,234	583,992	620,301	294,765	269,027

- ※平成24年12月13日岩国錦帯橋空港開港
- ※平成25年8月1日貸切バスの交替運転者の配置基準改正
- ※平成25年は日米親善デー開催中止・平成26年は日米親善デー開催（航空ショーなし）
- ※平成29年は山口県デスティネーションキャンペーン実施
- ※平成30年7月西日本豪雨災害
- ※令和2年3月～ 新型コロナウイルス感染症



※過去3年間の国別観光客数内訳

(人)										
	合計	韓国	台湾	中国(本土)	香港	タイ	アメリカ	中南米	ヨーロッパ	その他
令和元年	76,804	5,046	19,760	4,539	6,633	4,831	11,270	3,943	4,416	16,366
令和2年	10,497	1,060	3,825	112	502	0	3,557	64	213	1,164
令和3年	4,976	76	47	126	4	0	3,744	0	91	888

過去３年間の錦帯橋入橋者数（月別）

（単位：人）

年・月	令和元年	令和２年		令和3年	
			対前年比		対前年比
１月	37,039	29,933	80.8%	12,446	41.6%
２月	28,335	23,498	82.9%	12,269	52.2%
３月	61,218	36,406	59.5%	37,189	102.2%
４月	85,688	13,314	15.5%	26,660	200.2%
５月	88,965	3,854	4.3%	23,283	604.1%
６月	38,807	9,834	25.3%	9,908	100.8%
７月	35,464	14,995	42.3%	18,612	124.1%
８月	58,031	26,091	45.0%	16,769	64.3%
９月	37,861	29,591	78.2%	16,769	56.7%
１０月	49,658	31,185	62.8%	23,235	74.5%
１１月	61,919	50,945	82.3%	41,864	82.2%
１２月	37,316	25,119	67.3%	30,023	119.5%
合　計	620,301	294,765	47.5%	269,027	91.3%

令和3年 岩国市観光アンケート調査

1 目 的

今後の観光行政をより効果的に推進していくための基礎的な資料として、岩国市を訪れる観光客の動向を把握するため、観光アンケート調査を実施した。

2 調査概要

◎調査対象

聞き取り調査（錦帯橋周辺に限る）岩国市来訪者

◎調査場所および調査日

来訪者への聞き取り調査（錦帯橋周辺）

＊令和3年4月～令和3年12月（随時）

◎サンプル数(有効回答) 1, 0 5 0 人（令和2年：4 0 0 人）

調査方法

観光アンケート調査は岩国観光ガイドボランティア協会に依頼し、期間を通じて、団体、個人旅行とバランスよく聞き取り調査を実施。

設問1：来岩観光客の地域別割合

順位	令和2年		令和3年	
1	中国・四国	59.00%	中国・四国	47.00%
2	近畿	15.25%	関東	15.50%
3	九州	11.75%	九州	12.90%
4	関東	8.75%	近畿	12.30%
5	中部	4.75%	中部	5.40%
6	北海道・東北	0.25%	北海道・東北	0.80%
7	外国	0.00%	外国	0.10%
	無回答	0.25%	無回答	6.00%
	計	100.00%	計	100.00%

来県別ベスト10は ①広島 ②山口 ③福岡 ④東京 ⑤大阪 ⑥神奈川 ⑦岡山 ⑧兵庫 ⑨千葉 ⑩愛知

R02 ①広島 ②山口 ③福岡 ④兵庫 ⑤大阪 ⑥東京 ⑦岡山 ⑧神奈川 ⑨愛知 ⑩島根

地域別割合では中国・四国の割合が約12%減少し約47%になる一方、関東をはじめとした各地域からの割合が増加した。

地域区分

北海道・東北	北海道・青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川
中部	新潟・富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・愛知・山梨・三重
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
中国・四国	鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
外国	アメリカ・台湾・中国・フランス・タイ・香港・ハンガリー・イギリス・オーストラリアなど29カ国

設問2：あなたの年齢

順位	令和2年		令和3年	
1	40代	24.75%	40代	21.73%
2	20代	23.50%	50代	19.83%
3	50代	16.25%	60代	19.07%
4	30代	15.00%	30代	17.45%
5	60代	9.75%	20代	13.25%
6	10代	6.50%	70代以上	7.05%
7	70代以上	4.25%	10代	1.62%
	計	100.00%	計	100.00%

来岩観光客の年齢は、20代に代わり、30代・50代・60代の割合が高くなった。

設問3：岩国への訪問回数

順位	令和2年		令和3年	
1	1回目	38.25%	1回目	50.40%
2	4回目以上	36.00%	2回目	19.10%
3	2回目	18.50%	4回目以上	18.80%
4	3回目	7.00%	3回目	11.70%
	無回答	0.25%		
	計	100.00%	計	100.00%

岩国に初めて訪れる方の割合が約22%増加し、4回目以上については約18%減少した。

【参考】団体バスツアーの地域別台数

(岩国市観光協会：観光バス入り込み状況より)

順位	令和2年			令和3年		
1	中国・四国	305台	24.86%	中国・四国	268台	42.10%
2	関東	280台	22.82%	九州	167台	26.20%
3	九州	241台	19.64%	関東	102台	16.00%
4	近畿	165台	13.45%	中部	39台	6.10%
5	中部	151台	12.31%	近畿	37台	5.80%
6	北海道・東北	43台	3.50%	北海道・東北	24台	3.80%
7	外国	42台	3.42%	外国	0台	0.00%
	計	1,227台	100.00%	計	637台	100.00%

団体バスツアーの台数は、約48%減少した。

《参考》あなたの性別

順位	令和2年		令和3年	
1	男	55.50%	男	54.10%
2	女	44.50%	女	45.60%
			無回答	0.30%
	計	100.00%	計	100.00%

【参考】個人旅行世代別割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
個人旅行比率	82.4%	97.1%	97.3%	98.7%	98.6%	95.5%	93.2%	96.9%

設問4：旅行企画の利用

順位	令和2年		令和3年	
1	フリープラン	87.50%	フリープラン	88.86%
2	旅行会社の個人旅行	8.25%	旅行会社の個人旅行	8.10%
3	旅行会社の団体旅行	2.00%	旅行会社の団体旅行	1.90%
	無回答	2.25%	無回答	1.14%
	計	100.00%	計	100.00%

フリープランの割合が約1%増加した一方で、旅行会社の個人及び団体旅行の割合が微減した。

設問5：旅行の形態（同行者）

順位	令和2年		令和3年	
1	夫婦・カップル	38.75%	家族	32.67%
2	家族	35.25%	夫婦・カップル	31.24%
3	友人	19.00%	友人	14.67%
4	ひとり旅	3.25%	ひとり旅	14.38%
5	友人(女子旅)	1.75%	女子旅	2.95%
6	修学旅行	1.25%	会社仲間	1.81%
7	その他	0.50%	修学旅行	0.38%
8			その他	0.76%
	無回答	0.25%	無回答	1.14%
	計	100.00%	計	100.00%

家族、夫婦・カップル、友人の割合が合計約13%減少し、ひとり旅の割合が約11%増加した。

設問6：旅行先を決めるのに最も参考にしたもの

順位	令和2年		令和3年	
1	既に知っていた	69.75%	既に知っていた	54.00%
2	旅行雑誌・ガイドブック	7.25%	旅行雑誌・ガイドブック	19.05%
3	友人の話	7.25%	口コミ	8.38%
4	SNS	4.50%	テレビ・ラジオ	5.81%
5	ホームページ	3.25%	ホームページ	5.14%
6	テレビ・ラジオ	2.75%	旅行会社を通じて	2.10%
7	旅行会社	0.50%	パンフレット・ポスター	1.33%
8	その他	4.75%	SNS	1.14%
9			その他	2.86%
			無回答	0.19%
	計	100.00%	計	100.00%

設問7-1：岩国の前に訪れた観光地

順位	令和2年		令和3年	
1	広島	18.25%	広島	13.60%
2	山口県中西部	6.50%	山口県中西部	5.80%
3	山口県東部	2.50%	宮島	3.20%
4	宮島	2.25%	九州	1.80%
5	島根 鳥取	2.25%	山口県東部	1.30%
6	九州	1.75%	岡山	1.30%
7	関東	0.25%	関西	0.80%
8	関西	0.25%	島根 鳥取	0.50%
9	四国	0.25%	関東	0.50%
10			四国	0.40%
11			自宅	70.70%
	無回答	65.75%	無回答	0.10%
	計	100.00%	計	100.00%

設問7-2：岩国の後に訪れる予定の観光地

順位	令和2年		令和3年	
1	広島	17.25%	広島	12.86%
2	山口県中西部	5.50%	山口県中西部	10.57%
3	宮島	3.50%	宮島	6.48%
4	山口県東部	1.75%	山口県東部	2.95%
5	九州	1.25%	九州	0.95%
6	島根 鳥取	1.00%	岡山	0.76%
7	関西	0.25%	関東	0.57%
8	東海	0.25%	関西	0.57%
9			島根 鳥取	0.48%
10			四国	0.38%
11			自宅	63.05%
	無回答	69.25%	無回答	0.38%
	計	100.00%	計	100.00%

設問8：利用した主な交通機関

順位	令和2年		令和3年	
1	乗用車（2輪含む）	75.00%	乗用車（2輪含む）	73.14%
2	鉄道（新幹線）	12.25%	鉄道（新幹線）	10.38%
3	鉄道（山陽本線）	4.00%	鉄道（山陽本線）	6.10%
4	航空機（岩国錦帯橋空港）	1.75%	航空機（岩国錦帯橋空港）	3.71%
5	バス	0.75%	ツアーバス	2.19%
6	その他	6.25%	高速バス	1.52%
7			その他	2.67%
			未回答	0.29%
	計	100.00%	計	100.00%

設問9：岩国での宿泊

順位	令和2年		令和3年	
1	泊まらない	87.25%	泊まらない	90.10%
2	泊まる	12.75%	泊まる	9.90%
	計	100.00%	計	100.00%

泊まる割合が約3%減少した。

【参考】宿泊状況世代別割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
泊まらない	76.47%	91.37%	71.05%	95.67%	92.79%	90.50%	94.59%
泊まる	23.53%	8.63%	9.21%	13.94%	7.21%	9.50%	5.41%

設問10：泊まらない人の滞在時間

順位	令和2年		令和3年	
1	2～4時間	39.00%	2～4時間	59.83%
2	1～2時間	31.75%	1～2時間	30.44%
3	4時間以上	12.25%	4時間以上	5.50%
4	1時間未満	4.25%	1時間未満	4.23%
	無回答	12.75%		
	計	100.00%	計	100.00%

2～4時間の割合が約20%増加し、4時間以上の割合が約7%減少した。

【参考】滞在状況世代別割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	平均
1時間未満	0.00%	4.72%	1.23%	2.01%	3.11%	9.39%	7.14%	3.94%
1～2時間	15.38%	25.98%	32.72%	28.14%	32.12%	35.91%	24.29%	27.79%
2～4時間	84.62%	64.57%	58.64%	63.32%	60.10%	50.28%	62.86%	63.48%
4時間以上	0.00%	4.72%	7.41%	6.53%	4.66%	4.42%	5.71%	4.78%

設問11：岩国での使用金額(宿泊費除く。)

	令和2年		令和3年	
1	3,000円	25.50%	2,000円	29.80%
2	1,000円以下	23.25%	3,000円	26.20%
3	2,000円	18.75%	1,000円	23.60%
4	5,000円	17.25%	5,000円	10.20%
5	4,000円	6.00%	4,000円	3.70%
6	10,000円以上	6.00%	999円以下	2.60%
7	6,000円	2.50%	10,000円以上	1.60%
8	7,000円	0.75%	6,000円	1.10%
9			8,000円	0.20%
10			7,000円	0.00%
11			9,000円	0.00%
			未回答	1.00%
	計	100.00%	計	100.00%

3,000円までの割合が約15%増加し、4,000円以上の割合が約16%減少した。

設問12：岩国でのお金の使用先

順位	令和2年		令和3年	
1	錦帯橋	82.50%	錦帯橋	84.20%
2	軽食	69.75%	ロープウエー	57.00%
3	昼食	60.75%	岩国城	56.60%
4	ロープウエー	37.50%	昼食	41.00%
5	岩国城	36.75%	岩国シロヘビの館	41.00%
6	土産（飲食）	27.75%	軽食	29.00%
7	岩国シロヘビの館	15.50%	土産（飲食物）	23.60%
8	夕食	10.50%	土産（雑貨）	9.60%
9	土産（雑貨）	7.00%	上記以外の有料施設	1.90%
10	上記以外の有料施設	1.00%	夕食	1.50%
11	体験料	0.00%	体験料	0.00%
12	その他	0.50%	その他	2.10%
	合計	349.50%	合計	347.50%

※複数回答のため100%になりません。

ロープウエー・岩国城・岩国シロヘビの館の割合が高くなる一方、軽食・昼食・夕食など、食事をとられる方の割合が低くなった。

設問14：魅力向上のために必要な施策

順位	令和2年		令和3年	
1	公共交通の利用方法・乗り方・料金情報の入手	9.18%	休憩所・ベンチが少ない	40.36%
2	観光情報（見どころ、体験、飲食店等）の入手	8.16%	駐車場が不便、わかりづらい	15.64%
3	洋式トイレが少ない、場所がわかりにくい	7.14%	観光情報（見どころ、体験、飲食店等）の入手	9.82%
4	無料Wi-Fi環境が少ない	3.06%	観光案内所の数が少ない、分かりにくい	6.91%
5	クレジットカード利用店舗が少ない	3.06%	クレジットカード利用店舗が少ない	6.55%
6	観光案内所の数が少ない	3.06%	目的地までの公共交通の経路情報の入手	4.73%
7	休憩所が少ない	3.06%	観光誘導看板がわかりにくい	2.55%
8	観光誘導看板がわかりにくい	2.04%	無料Wi-Fi環境が少ない	2.55%
9	地図・パンフレットが少ない	1.02%	洋式トイレが少ない、場所がわかりにくい	0.36%
10	その他	60.20%	その他	10.55%

「休憩所・ベンチが少ない」の割合が4割程度となり、次いで「駐車場が不便、わかりづらい」「観光情報（見どころ、体験、飲食店情報等）の入手」が上位となった。

【参考】観光消費状況世代別割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
999円以下	0.00%	0.79%	5.56%	1.01%	1.04%	3.87%	5.71%
1,000円	23.08%	29.13%	22.22%	19.70%	19.69%	29.28%	24.29%
2,000円	46.15%	33.07%	30.86%	33.84%	30.05%	22.10%	25.71%
3,000円	15.38%	26.77%	20.37%	23.74%	30.05%	29.28%	30.00%
4,000円	0.00%	1.57%	8.64%	4.04%	2.59%	3.31%	0.00%
5,000円	0.00%	6.30%	8.02%	10.61%	13.47%	11.05%	11.43%
6,000円	0.00%	0.79%	2.47%	1.01%	1.04%	0.00%	1.43%
7,000円	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
8,000円	0.00%	0.00%	0.62%	0.00%	0.00%	0.55%	0.00%
9,000円	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
10,000円以上	7.69%	0.79%	1.23%	4.04%	1.04%	0.55%	0.00%
未回答	7.69%	0.79%	0.00%	2.02%	1.04%	0.00%	1.43%

設問13：岩国市で錦帯橋周辺以外に行った（行く）場所

	令和2年		令和3年	
1	錦帯橋周辺以外には行かない	78.24%	錦帯橋周辺以外には行かない	85.84%
2	美川ムーバレー	4.40%	潮風公園みなとオアシスゆう	1.89%
3	温泉	3.92%	美川ムーバレー	0.85%
4	錦川清流線	2.20%	錦川清流線	0.66%
5	広島東洋カープ由宇練習場	1.47%	温泉（雙津峡・深谷峡温泉）	0.66%
6	とことこトレイン	0.73%	弥栄湖周辺	0.47%
7	潮風公園みなとオアシスゆう	0.73%	広島東洋カープ由宇練習場	0.28%
8	弥栄湖周辺	0.73%	とことこトレイン	0.19%
9	その他	3.42%	その他	8.22%
	無回答	4.16%	未回答	0.94%
	計	100.00%	計	100.00%

錦帯橋周辺以外には行かないと回答された方の割合が約7%増加した。

令和 3 年の観光について

令和 3 年の岩国市全体の観光入込客数は、前年比約 1.1%減の 1,351,377 人となり、平成 18 年の市町村合併以降、最も少なくなりました。

また、錦帯橋の入橋者数は、前年比約 8.7%減の 269,027 人となり、昭和 41 年の記録開始以降、最も少ない入橋者となりました。

本市を訪れた外国人観光客数については、前年比約 52.6%減の 4,976 人となり、国別の内訳は、アメリカが最も多く、次いで中国、ヨーロッパの順となりました。

これらの要因としては、新型コロナウイルス感染症が感染拡大する地域において複数回に渡る緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置が 1 月から 9 月にかけて実施されるなど、令和 2 年から、当該感染症の感染拡大の影響が継続し、移動・外出の自粛や入国制限・各国の渡航制限措置等により観光需要が低迷したことや、観光施設等の休業、大型イベント等の中止が挙げられます。

こうした中、コロナ禍においても、本市では、民間団体による観光誘客イベントの実施を支援する「観光いわくにイベント支援補助金」の実施や本市への団体旅行を企画する旅行業者に対し助成する「岩国市団体旅行支援補助金」の実施により、観光消費の回復と観光誘客に取り組むとともに、「いわくに宿泊事業者緊急支援金」の実施により、市内宿泊事業者の事業継続・雇用維持を図るための支援を行いました。

また、近隣地域からの観光需要の喚起としては、前年に引き続き、錦帯橋周辺の観光施設の小学生料金を無料にするキャンペーンや岩国観光プロモーション推進協議会による市内観光施設を活用した謎解きゲームを実施するとともに、夜間観光の魅力創出として、錦帯橋や桜のライトアップを新たにフルカラーにリニューアルして実施いたしました。このフルカラーライトアップにおいては、SNS 等を通じて、多くの方が「幻想的な夜景」を情報発信されるなど、好評を得ました。

さらに、山口県で実施された「旅々やまぐち県民割」や「やまぐちプレミアム宿泊券」発行等の事業では、コロナ禍の観光需要が低迷する厳しい状況のなかにおいても、観光入込客の下支えとして効果があったものと考えています。

次に、アンケート調査結果による令和 3 年の傾向についてですが、まず、設問 1 の「来岩観光客の地域別割合」では、「中国・四国」からの訪問の割合が、低

くなったものの、半数程度の割合を占めるとともに、「関東」をはじめとした各地域からの訪問の割合が高くなりました。また、錦帯橋を訪れた観光バスは、前年比約 48% 減の 637 台となりました。

設問 2 の「年代別来岩者数割合」では、前年と同様「40 代」の割合が最も高く、次いで「20 代」に代わり、「50 代」、「60 代」、「30 代」の割合が高くなりました。

設問 3 の「岩国への訪問回数」では、「1 回目」の割合が高くなる一方、複数回訪問された方の割合が低くなり、それぞれ半数程度の割合になりました。

設問 5 の「旅行の形態」では、「家族」、「夫婦・カップル」の割合が高い傾向は変わりませんが、「ひとり旅」の割合が高くなりました。

設問 8 の「利用した主な交通機関」では、「乗用車（2 輪を含む。）」の利用の割合が、前年に続いて 7 割程度を占めました。

設問 9 の「岩国での宿泊」では、宿泊しない割合が前年に続いて 9 割程度を占めました。

設問 10 の「泊まらない人の滞在時間」では、「2 ～ 4 時間」の割合が高くなり、6 割程度を占める一方、「4 時間以上」の割合が低くなりました。

設問 11 の「岩国での使用金額（宿泊費除く。）」では、3 千円までの割合が高くなり、8 割以上を占める一方、4 千円以上の割合が低くなりました。

設問 12 の「岩国でのお金の使用先」では、「ロープウェー」、「岩国城」、「岩国シロヘビの館」の割合が高くなる一方、「軽食」、「昼食」、「夕食」など岩国で食事をとられる方の割合が低くなりました。

設問 13 の「錦帯橋周辺以外に行った（行く）場所」では、錦帯橋周辺以外に行かない方の割合が増加し、市内の他の観光施設等への周遊の割合が低くなりました。

設問 14 の「魅力向上のために必要な施策」では、「休憩所・ベンチが少ない」の割合が 4 割程度を占め、次いで「駐車場が不便、わかりづらい」、「観光情報の入手」が上位となりました。

以上のとおり、本市を訪れる観光客は、近隣地域の家族連れの方々などが、主に乗用車（2 輪を含む。）を利用され来訪される割合が高く、新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅から近距離・短時間での移動により地域の魅力を再発見するマイクロツーリズムが顕著に表れた前年と同じ傾向が続いているものと

考えられます。

また、令和３年の滞在時間や観光消費額は、令和２年に実施された国の「ＧｏＴｏトラベル事業」の反動も考えられますが、これまでと同様、滞在時間の延長や観光消費額の拡大は、本市観光の課題となっています。

こうしたことから、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光需要の喚起を図るための施策の実施や、コロナ禍の新たな旅行形態への対応等を踏まえ、本市への観光誘客に効果的な情報発信や観光資源の磨き上げ、観光体験メニューの充実などの取り組みが必要と考えます。

令和４年の観光について

令和４年に入り、感染力の非常に強いオミクロン株が全国的な広がりをみせ、新型コロナウイルス感染者が急増したことにより、感染拡大する地域においてまん延防止等重点措置が適用されました。本市においても１月初旬から同措置が適用となり、観光業を取り巻く環境は、年の初めから厳しいスタートとなっています。

こうした中、本市では、「観光いわくにイベント支援補助金」や「岩国市団体旅行支援補助金」を前年度に引き続き実施するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により大きな影響を受けている観光事業者を支援し、観光需要の喚起を図るため、「岩国市観光クーポン券発行事業」を新たに実施いたします。

また、市内各所の魅力や観光情報について、岩国観光プロモーション推進協議会と連携し、ＳＮＳを通じた情報発信の充実等に努めるほか、国外に向けては、リニューアルした英語版、中国語（簡体・繁体）版、韓国語版のホームページや観光ＰＲ動画等を活用した観光プロモーションに取り組んでまいります。

さらに、好評をいただいております錦帯橋や桜のライトアップの充実を図るとともに、ライトアップ機材を活用した観光施設でのイベント実施を検討するなど、観光の新たな魅力創出や観光体験メニューの充実により、今後も市内の各観光協会や岩国観光プロモーション推進協議会など関係団体と連携し、観光誘客の早期回復につなげてまいります。